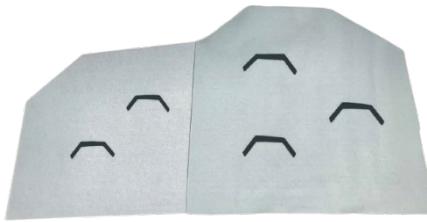
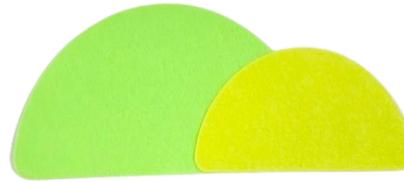


おはなしエプロン® 「3びきのやぎとトロル」

◎登場人物（部品表）

小やぎ	中やぎ	大やぎ	トロル
			
岩	橋	山	
			

おはなしエプロン® 「3びきのやぎとトロル」

～シナリオ～

☆初めての方でも演じやすいように作成しておりますので原作と少し内容が違う部分もありますがご了承ください。

☆「」の部分はセリフなので手に持ちながら話すと子どもたちに分かりやすいです。

☆やぎの大きさに合わせて声色を変えてみたり大きいやぎとトロルの戦闘シーンは大きく動かしてみたり慣れてきたら動き等アレンジしてみてください。

	写真	セリフ (○) 動かし方 (★)
1		<p>※岩ポケットと橋・山をはじめにエプロンに付けておきます。</p> <p>○昔々、仲良しの違う3びきのやぎが、山のふもとに住んでいました。いつも3びきで一緒に草を食べています。そんなある日のこと、3びきのやぎは、たくさん食べて太ろうと話し合って、草場へ向けて山を登っていました。草場へいくための、山を上る途中に谷川があって、そこに橋が掛かっています。3びきのやぎは、そこを渡らなければ、決して草場へはたどり着けません。ですが、橋の下には乱暴でどうもうな大きな鬼のトロルが住んでいます。皿のようなくぐりめだまと、つきでた醜い鼻ををもっていて、。全身は土色でなんとも恐ろしい姿をしています。なんと、その鬼のトロルが住む橋を渡りに、3びきのやぎがやってきました。</p> <p>★小やぎ登場</p>
2		<p>○まず最初に小さいやぎが橋を渡りはじめると、カタッコトツカタッコトツと足音が鳴りました。</p> <p>すると「だれだ！おれの橋をカタコトさせるやつは！」と怒ったトロルが現れました。★トロル目まで登場</p> <p>「おまえを一飲みにしてやるぞ！」そういうとトロルは襲い掛かりました。</p> <p>小さいやぎは、震えながら「お願いです、食べないでください。少しまてば僕より大きいやぎが来ますから」と言いました。</p> <p>そこで、トロルは小さいやぎのがらがらどんどん橋を渡らせます。★小やぎを上方へ、トロルも下げる</p>

3		<p>★中やぎ登場</p> <p>○少し待っていると、中くらいのやぎが橋を渡り出しました。 「ガタッゴトッガタッゴトッ」と橋が揺れました。</p> <p>★トロル目まで登場</p> <p>「だれだ！おれの橋をガタゴトさせるやつは！」「おまえを一飲みにしてやる！」と襲い掛かりました。</p> <p>すると、中くらいのやぎはひらりと身をかわして言いました。 「おっと。食べないでおくれよ、少し待てば僕よりずっと大きいやぎがくるよ」トロルは2ばんめやぎのがらがらどんどん橋を渡らせました。★中やぎを上方へ</p> <p>すると、もうそこには、大きいやぎのがらがらどんどんが来ていました。</p>
4		<p>★大やぎ登場</p> <p>「ガタン！ゴトン！ガタン！ゴトン！」大きいやぎは、とても重いので橋が大きく揺れています。</p> <p>「だれだ！おれの橋をガタピシさせるやつは！」「一飲みにしてやる！」</p> <p>★トロルを両手を広げながら出す</p> <p>○かんかんに怒ったトロルに、大きいやぎは、「さあ来い！こっちにゃ2本の角がある、これで目玉をでんがくざし、おまけに2本の足がある、肉も骨も粉々に踏み碎くぞ」そういうとトロルに飛び掛かり、めちゃくちゃにして谷川へ突き落としました。</p> <p>★大やぎも手に持ち戦うように動かす</p> <p>戦いの後はトロルを岩のポケットの中へへ</p>
5		<p>○それから3びきのやぎは、笑いながら山を登っていました。 山では、お腹いっぱいに食べすぎて、家に帰るのがたいへんだったそうです。</p> <p>おしまい</p>

てくてくもSHOP

〒805-0031

北九州市八幡東区襪田2丁目1-23

TEL:093-647-5100 FAX:093-616-8005

ショッフ URL: <https://tectecmo.raku-uru.jp/>

